

生涯学習やまがた



点前の披露



亭主による茶碗の説明



外には庭園が広がります



新たに設置された水屋



左から佐藤さん、柴田さん

CONTENTS

- ② 特集
SDGsと生涯学習 ～質の高い教育をみんなに～
「ジェンダーと生涯学習」(伊藤 真知子氏)
- ⑤ 事業紹介
令和3年度山形県生涯学習センター事業紹介
- ⑥ あなた やまがた たからびと⑩
高橋 身依さん(酒田市)
- ⑦ このまちに注目!
(公財)出羽庄内国際交流財団/天童市立津山公民館
- ⑧ Information
山形県生涯学習センター助成制度【二次募集】のご案内
高齢者生きがいくくり・生活支援活動人材育成等事業
地域づくり人材育成セミナー「防災と社会教育・生涯学習」

遊学の風景/洗心庵 和室 洗心庵茶室開き

—和室がリニューアルオープン!—

山形県生涯学習センター分館である「洗心庵」の和室が、新たに水屋を備えた「分館和室研修室」としてリニューアルオープンし、有料で占有利用ができるようになりました。オープンに伴い洗心庵ボランティアの佐藤良子さん、柴田トミノさんにご協力いただき、風薫る5月「茶室開き」が行われ、落ち着きと開放感をあわせ持つ和室に亭主の心遣いが満ちたひと時となりました。

障子戸を開くと素晴らしい庭園が広がります。お茶のお稽古や茶会の他、生け花、句会など自由な発想で幅広い学習の場としてご利用いただけます。是非ご活用ください!

SDGsの目標の一つに「質の高い教育をみんなに」が掲げられています。多様性の時代と言われる今、これからの学びのあり方とは？今回は「ジェンダーと生涯学習」に注目し、日本で盛んに叫ばれるジェンダー・ギャップの現状やそれを乗り越えるための学びについて、伊藤真知子氏より寄稿いただきました。

SDGsと生涯学習「質の高い教育をみんなに」 「ジェンダーと生涯学習」

山形県男女共同参画センター（チエリア）館長 伊藤 真知子 氏

SDGsと教育、ジェンダー

「持続可能な開発目標」（SDGs… Sustainable Development Goalsの略称）は、2015年9月の「国連持続可能な開発サミット」の成果文書に盛り込まれた、17の目標（その下に169のターゲット）から成る2030年までの世界の行動計画である。各国は「誰一人取り残さない」を合言葉に、貧困や飢餓、エネルギー、気候変動、平和的社会等の目標達成に向けて行動を開始した。日本では2016年5月に総理大臣を本部長とする「SDGs推進本部」を設置、その下で行政、民間セクター、NGO・NPO、有識者、国際機関、各種団体

等の幅広い参画により「SDGs実施指針」（2016年12月）が策定され、これにもとづく年度ごとのアクションプランに沿ってさまざまな取り組みが展開されている。

教育について、SDGsは目標4に「質の高い教育をみんなに」を掲げ、「すべての人々に、だれもが受けられる公平で質の高い教育を提供し、生涯学習の機会を促進する^{*1}」としている。ここでは「人間」が教育の対象・客体であるばかりでなく、持続可能な開発の担い手・主体として、学び成長することが強調されている。すなわち「すべての学習者が、とりわけ持続可能な開発のための教育と、持続可能なライフスタイル、人権、ジェンダー平等、

平和と非暴力文化の推進、グローバル・シチズンシップ（＝地球市民の精神）、文化多様性の尊重、持続可能な開発に文化が貢献することの価値認識等の教育を通して、持続可能な開発を促進するために必要な知識とスキルを確実に習得できるようにする」（ターゲット4・7）ということだ。

このなかの「ジェンダー平等」は、目標5「ジェンダー平等を実現しよう」に掲げられている。世界経済フォーラムが毎年発表する「ジェンダー・ギャップ報告書2021」において、日本は156か国中120位^{*2}



出典：国連広報センター
https://www.unic.or.jp/files/sdg_poster_ja_2021.pdf

と極めて低いランクに留まっている。最近では、新型コロナウイルス感染症の拡大が特に女性に深刻な影響を及ぼしていることが明らかになり^{*3}、また、東京五輪・パラリンピック組織委員会前会長の女性蔑視発言をめぐる報道等によって、「ジェンダー」「ジェンダー平等」という言葉の見える化（可視化）が進んだ。このように現代的課題として急浮上したとも言える「ジェンダー」について、生涯学習、学びと関連づけながら、その課題解決の方向性を考えていくことにしたい。

伊藤 真知子 氏 プロフィール

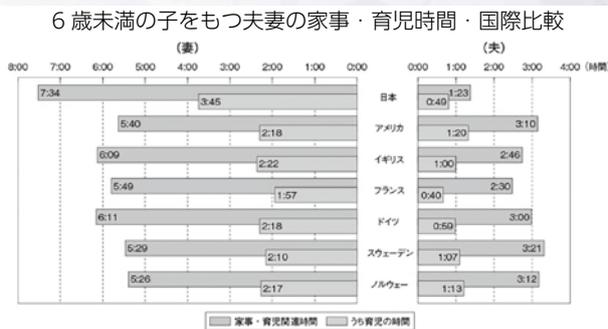


東北公益文科大学名誉教授。国立女性教育会館事業課研究員、東北公益文科大学教授を経て、2021年4月から現職。2004年から「チエリア塾」講師を務めるとともに、「ジェンダー白熱教室」「女性のためのこころのケア講座」（庄内ちえりあ主催）等で女性のエンパワーメントを応援している。山形県男女共同参画審議会会長、鶴岡市男女共同参画推進懇談会会長、酒田市女性活躍推進懇話会委員など。2016年度男女共同参画社会づくり功労者内閣総理大臣表彰受賞。

ジェンダー・ギャップ大国から
男女共同参画社会へ

「ジェンダー」とは、社会的・文化的に形成された性別を表す概念であり、

「男らしさ／女らしさ」や、「男はこう」「女はこう」という性別役割や性別観、社会慣行等を指す。時代とともに急速に変化しており、たとえば夫婦のあり方について「夫は働き、妻は家庭を守るのが良い」という考え方に反対する人は全体の半数を超え^{※4}、かつて賛成が多数であった意識は変化した。だが実



(備考) 1. Eurostat "How Europeans Spend Their Time Everyday Life of Women and Men" (2004), Bureau of Labor Statistics of the U.S. "American Time Use Survey" (2016) 及び総務省「社会生活基本調査」(2016年)より作成。
2. 日本の数値は、「夫婦と子供の世帯」に設定した夫と妻の1日当たりの「家事」、「介護・看護」、「育児」及び「買い物」の合計時間(週全体平均)である。

資料：内閣府資料

出典：内閣府「令和元年版少子化社会対策白書」

https://www8.cao.go.jp/shoushi/shoushika/whitepaper/measures/w-2019/r01webhonpen/html/b1_s1-1-5.html

態は、たとえば「6歳未満の子をもつ夫妻の家事・育児時間・国際比較」において、日本の妻の家事・育児時間が夫の6倍近くにのぼるといふほどの大きなギャップがある。

前述の「ジェンダー・ギャップ報告書」においては、経済・教育・健康・政治の4分野のうち、日本は経済117位、政治147位で、企業の管理職・役員や閣僚・国会議員等「ものごとを決定する」立場の女性割合が極めて低い。以上から、「男性の家事・育児参画」ならびに「政策方針決定過程への女性の参画」が、ジェンダー・ギャップ解消の喫緊の課題であると言える。

ジェンダー・ギャップの解消、すなわちジェンダー平等の実現に向け、政府は「第5次男女共同参画基本計画」(2020年12月)を策定した。目指すべき男女共同参画社会とは、「男女が互いにその人権を尊重しつつ責任も分かち合い、性別にかかわらず、その個性と能力を十分に発揮することができる^{※5}」社会である。「男だから」「女だから」と性別に枠づけられるのではなく、誰もが「私だから」と、「私らしく」「自分らしく」生きることで、社会をみざる。また、これまで男性中

心だった職場や地域社会には、女性や若者、外国人等、多様な視点や新しい発想・アイデアがもたらされ、イノベーションや収益増加等が期待できる。ジェンダー・ギャップ解消が、若年女性の地域回帰・定着に良い作用をもたらすことも考えられる。このように社会経済の活性化という観点からも、男女共同参画社会形成が要請されているのである。

その実現には、①法制度・慣行を変えていく、政府・自治体や企業、民間団体、地域コミュニティ等による政策的、総合的な取り組みとともに、②意識・慣行を変革する草の根からの市民、NPO・ボランティア団体、女性グループ等による自発的、具体個別的な取り組みの両方が欠かせない。いずれにおいても、課題を的確に認識し↓解決方法を探り↓実効性のある取り組みを進め↓振り返り(省察)、進捗チェックして改善し↓成果につなげ、評価を行うところまでが求められる。

ジェンダー・ギャップに「気づき」、
解消するための学び

まず課題認識のためには、ジェン

ダー・ギャップに敏感になり、気づき、見抜く視点が必要である。「ジェンダーの視点」であり、男女で異なる扱い(処遇)やダブルスタンダード(二重基準)はないか、女子は△△、男子は☆☆と決めつけていないか、区別が差別となっていないか、男女を逆に入れ替えてみるとどうか、等がポイントである。これまで当たり前、前提としてきたことをあらためて疑い、問い直す視点でもある。加えて、ジェンダーは人種・民族・階級・年齢・障害の有無等と交差しており多様性をもつことに十分配慮する(インターセクショナル리티)視点が大切である。そもそも、性別は男女に二分できるものではなく、LGBT等の性的少数者の存在(カミングアウトしていなくとも)を認め、SOGI(性自認と性的指向)の多様性を尊重することが重要になっている^{※6}。

さらに「無意識の思い込み(偏見)」、(アンコンシャス・バイアス)をチェックしてみることも大切である。「子育て中の女性に残業は無理だろう」「親が単身赴任中と聞くと、父親が思い浮かぶ」等、無意識の思い込みは誰にでもあって、それ自身が問題ではなく、良し悪しがあるわけではない。

けれども、思い込みにもとづく言動が、

知らず知らずのうちに相手を傷つけたり、自分自身の可能性を狭めたりする等、さまざまな影響があり得る。そうならないためには、①決めつけない、押しつけない、②相手の表情や態度の変化など「サイン」に注目する、③自己認知（自分への問いかけ）の3つの対処方法が有効であるという*7。

このように「ジェンダーの視点」を意識しつつ、学校、職場、家庭、地域等、自らのかわる場面での活動や人ととの関係性を点検、チェックしていく過程が、とりもなおさず「ジェンダーの視点」を内在化し定着するための学習機会となる。ここでは「対話」による学習を勧めたい。性別や年齢、経歴の異なる人たちと向き合い、多様な経験を自他ともに開示し、学び合うことよって、これまでにない視点や気づきを得ることが出来る。性別にかかわる固定観念や、ときには「有害な」男らしさ／女らしさを手放し、崩していくような「アンラーン」（学習棄却、学び直し）の機会ともなり得る。日常的に「対話」を心がけるとともに、ワークショップ等の非日常の場づくりを行い、生き生きと楽しく学ぶ協働学

習の輪を広げたい。

山形県男女共同参画センター（チェリア）はじめ県内各地のセンター等は、講座・ワークショップ等の場づくりやまた、女性リーダー育成事業「チェリア塾」の修了生等による男女共同参画推進員が、講師・ファシリテーターとして派遣される制度（出前講座）もある。コロナ禍でむしろオンライン講座等の可能性が広がっており、このような仕組みをぜひ活用していただきたい。



チェリア塾基本コース in 最上（2020年）の講座風景

持続可能な社会を次世代に手渡す

SDGsの目標5は、「ジェンダー平等を達成し、すべての女性・少女のエンパワーメントを行う」と謳っている。「あらゆる場所で、すべての女性・少女に対するあらゆる形態の差別をなくす」（ターゲット5.1）ことを始めとして、暴力や有害な慣行の廃絶、無償労働の評価、性と生殖に関する健康・権利の実現等、課題は多岐にわたる。女性・少女を主語に出発するもの、エンパワーメントすなわち「一人ひとりが、自らの意思で決定をし、状況を変革していく力を身につけること」とは、すべての人の課題である。持続可能な社会のために、次の世代に何を手渡せるか。私たちは、ジェンダー平等への変革のしかたを学び、行動を変え、勇気を得て、仲間とともに活動することによって、今とは違う未来を次世代に手渡したいと思う。

そこで参照したいのは、「複数性」（ハンナ・アーレント*8）という概念である。「複数性」とは、人間は、過去にも現在にもそして未来にも誰一人として同じ人はいないという独自性（違

い）があり、同時に、地球上に生きるヒトとして対等（同じ）であるということだ。それゆえアーレントは、思考すること（私ともう一人の私との対話）、他者の立場に立つ想像力、言葉で語り合い現実を理解する「活動」が重要であるとした。このように、違いを認め合い互いを尊重して対話し、つなかりを築いていく公平・公正な社会こそ、手渡したい未来である。人間を男女に二分し窮屈に枠づける（ジェンダー）近代社会を超えて、誰もが私らしく輝いて生きる社会をみんなで創っていききたい。

*1. 本稿における17の目標と169のターゲットの記述は、以下に準拠している。「SDGsとターゲット新訳」制作委員会「SDGsとターゲット新訳 Ver2.1」2021年 http://xsdg.jp/shinyaku_release.html

*2. 内閣府男女共同参画局「共同参画」2021年5月号 8頁 https://www.gender.go.jp/public/kyodosanaka/2021/202105/202105_05.html

*3. 「コロナ下の女性への影響と課題に関する研究会」『コロナ下の女性への影響と課題に関する研究会報告書』2020年 <https://www.gender.go.jp/kaiji/kenko/ovid-19/index.html>

*4. 山形県「令和元年度ワーク・ライフ・バランス、男女共同参画及び女性活躍に関する県民意識調査報告書」2020年 12頁 <https://www.pref.yamagata.jp/010003/kurashi/jinken/wlb/pdf-chosakekka.html>

*5. 「男女共同参画社会基本法前文」1999年

*6. 「GBIとは」①「レストリアン・ゲイ・バイセクシャルおよびトランスジェンダーを指す語」GLBT②「広く、性的指向が異性愛でない人々や、性自認が誕生時に付与された性別と異なる人々」（『広辞苑』第7版、岩波書店、2018年）

*7. 内閣府男女共同参画局「共同参画」2021年5月号 3頁 https://www.gender.go.jp/public/kyodosanaka/2021/202105/202105_02.html

*8. ハンナ・アーレント著、志水速雄訳『人間の条件』ちくま学芸文庫、1994年

令和3年度 山形県生涯学習センター事業紹介

今年はこちらに注目！

あなたやまがた たらびと
~1人ひとりの県民がいきいきと活躍する
「生涯学習社会やまがた」を目指して~

学習情報・機会の提供



山形県生涯学習情報提供システム「やまがたマナビネット」

● 学習情報収集・提供事業

「やまがたマナビネット」

Pick up!

● 長寿社会づくり推進事業

● 「ふるさと塾」推進事業

● 広報紙発行事業

広報紙『生涯学習やまがた』発刊

昨年度リニューアルした「やまがたマナビネット」。県内の講座・イベント、講師・指導者、団体・グループ、施設等の情報提供を行っています。地域・学校・家庭いずれの場でもご活用いただける情報が満載です！



今年度の山形学フォーラム・講座共に会場・オンラインの同時開催！

● 「山形学」推進事業

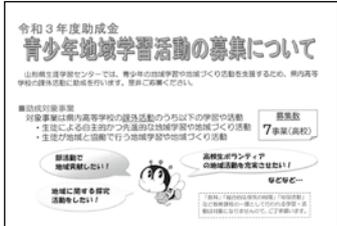
山形学フォーラム

山形学講座

Pick up!

● 「山形学」地域連携講座支援事業

平成2年の生涯学習センター開設時より中核事業として継続している山形学。毎年、多様な切り口から山形を学びます。今年度は「山形にも迫る環境異変」をテーマにフォーラムと講座を開催。山形の環境異変について、講義や現地学習で学びます！



高校生の課外活動での地域学習や地域づくり活動も応援します！

● 生涯学習活動支援事業

地域生涯学習支援事業

青少年地域学習活動支援事業

特色ある生涯学習活動支援事業 ほか

Pick up!

● 生涯学習活動実践団体との連携事業

地域づくりの観点から、行政・団体・高等教育機関等が開催する現代的課題の解決や社会の要請に応じた生涯学習事業への支援を行っています！

Check! P.8

学習活動支援者の育成



パワーアップセミナーではグループでの「熟議(じゅくぎ)」を通して、課題を解決していく手法を学びます！

● 生涯学習関係職員研修事業

パワーアップセミナー

地域づくり人材育成セミナー

Pick up!

● 高齢者生きがいづくり・生活支援活動人材育成等事業

入門講座(フォーラム)

実践講座(担い手養成講座)

分野別研修(食事提供・移動支援)

専門職派遣

行政職員向けの研修のほか、地域づくりに興味関心のある県民も対象にした研修を開催。今年度は「防災・減災」をテーマに、事業企画と運営のスキルアップを図るための研修を開催します！

Check! P.8

● シニア地域実践活動支援事業

学習成果の活用



昨年度の高齢者生きがいづくり・生活支援活動育成事業の様子

● 「山形学」推進事業【再掲】

地域学交流集会

● 高齢者生きがいづくり・生活支援活動

人材育成等事業【再掲】

マッチングセミナー

NEW

Pick up!

フォローアップ研修会

高齢者の生きがいと支え合いを育む活動拠点(通いの場など)と、担い手としての活動を希望する方を繋ぐためのマッチングセミナーを県内2地域で開催します！



たか はし み え
高橋身依さん

JA庄内みどり理事、すくすくアグリネット所属、
Hi Farm (酒田市)

県内で自ら学び続け、いきいきと活躍している方を「たからびと」として、インタビュー形式でご紹介します。今回は、東京からUターンし就農。JA庄内みどり農協で女性初の理事となり、酒田市の農業女子で結成するすくすくアグリネットで活躍されている高橋身依さんにお話を伺います。

―就農したきっかけ、現在の活動は？―

もともと東京で美容師をしていましたが、実家が米・イチゴ・メロン・大根などを栽培する農家で、姉妹の中で唯一独身だった私に、両親から就農しないかとの話があったんです。地元に戻って農業をするイメージは浮かびませんでした。当時付き合っていた彼が農業をしないと断った。結婚して実家の農業を継ぐことになりました。巻き込まれた感じで始めたのに、私の方がイチゴ栽培にはまっています。はまったきっかけは、すくすくアグリネットの活動が大きかったです。酒田市の呼びかけで、それまで繋がりもなく地域もばらばらな農業女子たちが集まり結成した会なのですが、ファーマーズマーケットや研修会、アンテナショップへの出荷、首都圏への宅配、ふるさと納税への出品などの活動をしています。ファーマーズマーケットで直販することでお客様の反応が直に伝わり、パッケージなどの工夫も含めて評価される楽しさを感じて、更に収量を増やして美味しくしようと試行錯誤するうちに自分の狙い通りのイチゴが作れるようになりました。何より、農業をキーワードにつながることで、仲間意識も芽生えて心強いし、野菜料理のレシピ交換や交流がとても楽しいんです。



高橋さんが力を入れて栽培している白いイチゴ。「もも味イチゴ」の名前で酒田市の「みどりの里 山居館」などで販売中。

―農業や活動で感じたことは？―

農業って、男性が表に出ることが多くて、男の仕事、女の仕事と分かれていることがとても多いんです。例えば、トラクター・草刈り・除草剤散布・ハウスの修理等は男の仕事、収穫や出荷調整が女の仕事といった感じです。身体的な役割はわかるのですが、女性が使いやすく設計された機械も出てきていますし、機械の操作は覚えれば女性でもできます。草が伸びていたら気づいた時に刈りたいし、害虫を見つけたらすぐにでも駆除したい。でも、見栄えが悪いからするな、旦那さんの顔をつぶすな、女性なのにすごく張り切ってるか、言われてしまふんです。その点、すくすくアグリネットでは、個々だと目立たない活動も皆で集まって活動することで、市役所や新聞にも農業女子として注目してもらい、いろいろなところから助けてもらうことができます。それを利用して女性向けの農業機械の紹介やトラクター研



元気印の高橋さん。イチゴの収穫は4月から12月のクリスマスシーズンまで続きます。とにかく甘くて美味しいイチゴを作りたい！今ではお父様からもクレイジーだ！と言われるくらいイチゴに夢中。

―これからの目標は？―

修会を大々的に開催したり、農業も新しい時代になってきたことを発信できると感じています。やりたいことは悶々と心に留めないで、人に伝える。そうすると誰かが助けてくれます。心が負けそうな時に自分を鼓舞するために、有言実行が大事だと感じています。

今は、男性の仕事でも、自分でできることを少しずつ始めていて、家族も慣れてきて受け入れてくれるようになりました。継続って大事（笑）。一人で農業はできませんが、ちゃんと子どもを学校に行かせられるだけの農業経営が女性一人でもできるようにしたいですね。とにかく農業ってすごく楽しいので、女性が普通にやりたいことを自分でできること、私の娘や孫、若い子が素敵と思えるような農業や経営を楽しんでやれること、農業が女性の職業の選択肢の一つになるといいなと思っています。女性や子ども達に可愛いとか美味しいと喜んでもらえるものを作りたい。今力を入れているコナツツの香りで桃味にする白いイチゴも、大ヒットするんじゃないかとワクワクしながら作っています。それから「口口ナ禍」で納品先の加工品が売れない今こそ、自分の加工所も作りたいと進めています！

大切なイチゴを
ネズミから
守っているよ



すくすくアグリネットFB
<https://www.facebook.com/sukusukuagri0831/>

このまちに注目!



地域の取り組みを
紹介します

鶴岡市

公益財団法人 出羽庄内国際交流財団
旅する国際村オンラインツアー

■ 事業内容 ■



「母国に帰ったあの人は元気かな?」。国を越えた往来が難しい中、海外の友

達に会いたい!という思いで始まったオンラインツアー。27年目を迎える「国際村日本語教室」には今も20か国以上の方が参加しているなど、当財団ではこれまでも多くの外国出身者との交流を持ってきました。庄内から母国に帰った方などに協力を依頼し、現地の様子や暮らしぶりなどを紹介していただくオンラインツアーが実現。4月韓国編は約60名、5月アメリカ編は約30名が参加しました。自宅から気軽に参加できる海外旅行。今年度は7か国を訪問する予定です。

友達を訪ね、世界の今を見てみよう!

■ ここが大変 ■

国によって時差やネット環境の違いがあり、現地協力者と何度も打合せをして本番に臨んでいます。また初めてオンラインを使う参加者のために、当日スムーズに参加できるよう、事前に機械操作のサポートもしています。

■ ここがうまくいった ■

現地とライブでつながるため、その土地の風や気温も感じられるほどの臨場感!「有名観光地巡り」ではなく、その国の日常の暮らしぶりや、スピーカーの人となりを感じられるプログラムとなるよう心がけています。

参加者Voice

旅行会社が企画するオンラインツアーが人気だという。そんな中、ワンコイン1時間のお手軽、お得な旅。案内人のアロではないからこそ生活感あふれるライブ感は、まさにドラえものの「どこでもドア」的魅力! (60代女性)

天童市

天童市立津山公民館
鳳翁大学

■ 事業内容 ■



昭和42年から開校し、令和3年度で55回目となる歴史ある高齢者教室。受講

生自らが運営委員会を立ち上げ、年6回の講座を企画しています。市立津山公民館や高齢者健康福祉施設「天童温泉はな駒荘」などを会場に、60歳以上の天童市民を対象に健康の維持増進や教養を高め、積極的な社会参加を図ることを目的にしています。最盛期には80名を超える受講生が参加していましたが、現在は30名の受講生が和やかな雰囲気の中で楽しく受講しています。今年度第1回目は、「防犯や詐欺への対応、交通安全等」をテーマに、天童警察署と交通安全活動推進センターの方を講師に迎えて開催しました。

■ ここが大変 ■

長年実施してきた高齢者教室のため、年6回の講座内容を何にするか考え、アイデアを出し合うことが大変でした。過去に実施した講座ではなく、目新しい講座を行い受講生が飽きないような教室を目指しています。

■ ここがうまくいった ■

昨年度、脳トレ企画をした際、受講生は頭を抱えながら必死に回答を考え、問題の意図通りに引っ掛かるなど、受講生も問題を作成した企画者も、共に楽しむことができる内容で大変好評でした。

参加者Voice

コロナ禍の厳しい中、今年も高齢者教室が開催できました。30名の受講生は年6回の講座を楽しみにしています。特に人気の講座は研修旅行で、十分なソーシャルディスタンスを確保し運営をしています。(運営委員70代男性)

歴史ある高齢者の学びの場



山形県生涯学習センター助成制度【二次募集】のご案内



県内の皆様の多様な生涯学習活動を応援しています！
是非ご利用ください！

助成事業HP

<https://www.gakushubunka.jp/yugakukan/information/promotion/>

助成事業	青少年地域学習活動支援事業	地域生涯学習支援事業
対象	高等学校向け	市町村・施設・団体等関係者向け
特徴	高校の課外活動として行われる地域学習や地域づくり活動を支援します！	現代的課題の解決や社会の要請に応じた生涯学習事業を支援します！
二次募集数	下記センターへお問い合わせください	2事業
二次募集期間	8月3日～9月7日	8月3日～9月3日
事業実施期間	～2022年3月31日まで	
助成金額	助成の対象となる経費又は5万円のいずれか低い額	助成対象経費の3分の2（市町村・3年以上継続で助成を受けている団体は2分の1）又は20万円のいずれか低い額
助成対象経費	謝金・旅費・賃借料・印刷製本費・消耗品費など	

一般向け 関係者向け

高齢者生きがいづくり・生活支援活動人材育成等事業

高齢者が住み慣れた地域で自立した生活を継続するため、高齢者の生きがいづくり・生活支援活動に参加する担い手を育成します！詳細は後日、チラシやHPにてご確認ください！

- 支え合いを広げる地域づくりフォーラム**:定員各100名
高齢社会の現状や活動の必要性について学ぶフォーラム
〈村山地区〉7月17日(土)遊学館(山形市)・オンライン
〈庄内地区〉7月18日(日)藤島地区地域活動センター(鶴岡市)
- 支え合いの地域づくり担い手養成講座in庄内**:定員30名
活動を進めるための運営能力や企画立案能力を醸成する実践的な連続講座
8月24日(火)～10月26日(火)全5回
会場 出羽庄内国際村(鶴岡市)ほか
- 生活支援活動ステップアップ講座(食事提供・移動支援)**:定員30名
活動で生じたニーズ等(移動支援や食事提供等)に対応できるよう知識や技術を学ぶ研修
食事提供 11月12日(金)ゆめりあ(新庄市)・オンライン
11月13日(土)伝国の杜(米沢市)
移動支援 11月16日(火)遊学館(山形市)・オンライン
11月17日(水)出羽庄内国際村(鶴岡市)
申込み 山形県生涯学習センター(下記)へ

地域づくり人材育成セミナー「防災と社会教育・生涯学習」

“地域の防災力UPのために社会教育課・生涯学習課でやるべきことは？”“防災担当課や地域の自治組織との連携は？”“公民館やコメンで防災講座やイベントを企画するときのポイントは？”地域の災害対応力向上のために社会教育課・生涯学習課が果たす役割について、他県の事例や災害支援実績のある講師から学びます。

日時・会場 [山形]令和3年8月26日(木)
遊学館(山形市緑町1丁目2-36)
[庄内]令和3年8月27日(金)
酒田市公益ホール(酒田市飯森山3丁目5-1)
時間は両会場とも、13:00～16:00

料 金 無料
申込み 山形県生涯学習センター(下記)へ

編集後記

今回の広報紙はいかがでしたか？伊藤館長の特集や、たからびとの高橋さんにお会いし、皆が生きやすい世の中とは？と考えるきっかけになりました。小さい頃から「男だから」「女だから」という言葉を耳にしたり、意識せずに使ったこともあります。男性・女性問わず、この言葉に苦しめられている人もいます。時代の流れと共に、これまでの価値観や思い込みを疑い、変えていく視点が必要だと感じました。(R)

編集発行 (公財)山形県生涯学習文化財団 令和3年7月発行

山形県生涯学習センター 〒990-0041 山形市緑町 1-2-36[遊学館]
TEL 023-625-6411(貸館専用TEL 023-676-7182) FAX 023-625-6415
E-mail yama@gakushubunka.jp
URL <https://www.gakushubunka.jp/yugakukan/>

■開館時間 9:00～21:00[夜間利用が無い場合は20:00まで]

■休館日 第1・3・5月曜日、第3日曜日、年末年始

洗心庵[山形県生涯学習センター分館] 〒990-0041 山形市緑町 1-4-28
TEL 023-664-2800 FAX 023-664-2816

■開館時間 9:00～21:00[夜間利用が無い場合は19:00まで]

■休館日 毎週月曜日、毎月第3日曜日、年末年始

読者プレゼント

「生涯学習やまがた」をご覧いただいている皆さまに、感謝の気持ちを込めて、抽選で3名様へ遊学館ブックス最新刊『みやびとあそびの山形』(昨年12月発売1,100円)をプレゼント！左記の山形県生涯学習センター広報紙担当あてに【①お名前・ご住所②入手場所③興味を持たれた記事④内容についてのご感想・ご意見・ご要望】を添えて、はがき・メール・FAXでご応募ください！締め切りは8月末です。